

疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院生活科学研究科
食・健康科学専攻

【研究課題名】

人間ドック受診後の間接的フォローアップの検討

【研究期間】

2021年承認日～2023年3月31日

【研究の意義・目的】

生活習慣病は遺伝子の異常や加齢を含めた「遺伝要因」、病原体、有害物質、事故、ストレス等「外部環境要因」、食習慣、運動習慣をはじめとする「生活習慣要因」等さまざまな要因が複雑に関連し、心筋梗塞や狭心症、脳梗塞、脳出血など、より深刻な疾病の発症及び予後に影響を与える。結果として、QOLが低下し、健康寿命および寿命にも影響を与える。

一方、WHOファクトシート（感染症、非感染性疾患、高齢者、環境などWHOが取り組んでいる様々なテーマについて、最新の概要をわかりやすく簡潔にまとめた重宝な情報源）では、がんによる死亡の約3分の1は、生活習慣及び食事に関する5つのリスク（高いBMI、果物や野菜の摂取不足、運動不足、喫煙及び飲酒）に起因していると指摘し、経済産業省によると厚生労働省平成27年度国民医療費の概況から、医療需要の1/3は生活習慣関連が占めているとまとめている。なかでも認知症予防の観点からも生活習慣病予防は重要であると指摘している。

また、要支援者及び要介護者における介護が必要となった主な原因についても、脳血管疾患をはじめとした生活習慣病が3割を占めるとともに、認知症や、高齢による衰弱、関節疾患、骨折・転倒で5割を占めるなど社会的にも大きな課題となっている。

これらのことから、生活習慣病を早期発見・早期介入することで生活習慣の改善および予防につなげることが医療および医療経済的にも重要な課題である。人間ドックで測定されている項目を活用し、生活習慣指導を含む発症前対応が可能であれば、健康増進や医療経済などに大きなメリットが期待される。発症前対応・予防も含め、自己啓発の動機づけとして自身の食生活等における現状を把握することが必要と考える。

そこで、本研究では、人間ドック受診者を対象に食生活等を診断・評価し、フィードバックするなど間接的なフォローアップが与える影響について検討することを目的とした。

【研究の方法】

人間ドック“MedCity21”の受診者を対象に、本研究への参加をリクルートし、資料キットを担当医師または指定人員が配布する。参加希望のものから同意書、各種質問票※に回答したものが返送される。質問票の回答によりアウトカムとして栄養状態、身体活動量などの評価および栄養に関する情報を返送し、一年を周期とする。

※【質問票】

- ・BDHQ：（簡易型自記式食事歴法質問票：brief-type self-administered diet history questionnaire）：専用の栄養価計算プログラムによっておよそ30種類の栄養素とおおよそ50種類の食品の摂取量を算出できる。<http://www.ebnjapan.org/>
- ・IPAQ：国際標準化身体活動質問票は9項目からなり、1回当たり10分以上続く中強度、高強度の身体活動および歩行に費やす時間を尋ねる身体活動質問票である。
<http://www.tmu-ph.ac/index.php?cat=health>

1 <対象者の群分け>

- ・単回介入群（初回・6ヵ月後・12ヵ月後）と定期的介入群（初回・3ヵ月・6ヵ月後・9ヵ月後・12ヵ月後）の6ヵ月後および12ヵ月後を比較するため、資料キットは2種類作成しランダムに配布する。

2 <対象者のリクルート>

- ・担当医師または指定人員が資料キットを配布または待合室に資料キットを設置する。人間ドック“MedCity21”の受診者に、資料キットとして①同意説明文（別紙1）②同意書（別紙2）、③BDHQ記入例・記入の注意点（別紙3-1・3-2）、④BDHQ（簡易型自記式食事歴法質問票）（別紙4）、⑤IPAQ（身体活動質問票）（別紙5）、返信用封筒を配布する。また、指定人員が待合室にいる対象者に資料キットを配布し、待合室に資料キットを設置する場合もある。

3 <同意書および資料>

- ・参加希望者された方は「同意説明文」を確認後、「同意書」に氏名、住所、電話番号、メールアドレスを記入し指定の人員に返却する。

「BDHQ質問票」「IPAQ」は回答後、回収箱に投函する（郵送も可）。

メールでのやりとりはGoogle Cloud-G Suiteを、電話は研究用スマホを使用する。

4 <データの処理と結果の返還>

- ・④⑤に記入漏れのある場合、メール又は電話にて確認する。
- ・④⑤のデータを打ち込み、解析を行う。
- ・解析結果および栄養等に関する一口メモ（QRコードの場合もある）を同封し、参加者に返送する。
- ・参加者は、質問紙④⑤の回答・評価結果を受取るが、結果が届かなかった場合、メールまたは電話にて連絡を受ける。
- ・単回介入群は6ヵ月後・12ヵ月後に④⑤を送付し、返送されれば解析後評価表および一口メモを郵送する。

- ・定期的介入群は、3ヵ月後・6ヵ月後・9ヵ月後・12ヵ月後、④⑤を送付し返送されれば解析後評価表および一口メモを郵送する。

5 <人間ドックのデータを収集>

- ・12ヵ月前後の2回の問診票、身体計測、臨床診査のデータを収集する。

【研究組織】

研究代表者

大阪市立大学大学院 生活科学研究科 食・健康科学専攻 准教授 安井洋子

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者：大阪市立大学大学院 生活科学研究科 食・健康科学専攻
准教授 安井洋子

住 所：〒558-0004 大阪市住吉区杉本 3-3-138

電 話：06-6605-2854

F A X：06-6605-2854

E-mail：yasui@life.osaka-cu.ac.jp

大阪市立大学 生活科学部・生活科学研究科研究倫理委員会
承認番号（申請番号）：21-8